



別記様式(第8条関係)
(その1)

令和 6年 4月 1日

新城市議会議長

長 田 共 永 様

氏 名 山 口 洋 一

令和 5年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和 5年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和 5年度政務活動費収支報告書

氏 名 山 口 洋 一

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	114,225	全国市議会議長会研修フォーラム・水源の里シンポジウム(参加費・旅費)
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	8,948	コピー機リース料、コピー代
資 料 購 入 費	0	
合 計	123,173	

3 残 額

26,827 円

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

令和5年度政務活動研修費明細

山 口 洋 一

『研修費』

114,225 円

○第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州 令和5年10月25日～26日

上記研修会の交通費等として

乗車券(野田城⇄北九州) 33,500 円

フォーラム参加費 9,000 円

視察参加費 10,000 円

宿泊費 8,500 円

振込手数料 165 円

領収書(振込明細)は4人分

(山田、山口、カークランド、滝川)

 $660 \div 4 = 165$

小計 61,165 円

○第15回全国水源の里シンポジウムIN島根県松江市 令和5年11月21日～22日

上記研修会の交通費等として

乗車券(野田城⇄松江) 36,840 円

宿泊費 13,000 円

現地視察参加費 3,000 円

振込手数料 220 円

領収書(振込明細)は滝川議員と折半

//

小計 53,060 円

合計

114,225 円

流川 誠実、子し

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日		取扱金庫・店番・機番通番	
05-07-26		1551008-7009	
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号			
[REDACTED]			
お取引金額		お取引後残高	
000000000000		¥6,900*	
お取引種別		お取引後残高	
支払い		*****	
手数料	¥440	ページ	硬貨
時刻	11:06	おつり	
[REDACTED]			
サ"イ)セ"ンコクシチヨウソクケンシユウサ"イタ "ンセ"様 [REDACTED] タキカワ ケンツ"様 [REDACTED]			
印紙税申告納 ***** ***** ***** *****			
ご利用ありがとうございました。			

豊橋信用金庫

第1回 JIAM セミナー

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日		取扱金庫・店番・機番通番	
05-10-16		1551008-7146	
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号			
[REDACTED]			
お取引金額		お取引後残高	
000000000000		¥110,000*	
お取引種別		お取引後残高	
支払い		*****	
手数料	¥660	ページ	硬貨
時刻	11:24	おつり	
[REDACTED]			
カ) JTB 様 [REDACTED] 245タキカワケンツ"様 [REDACTED]			
***** ***** ***** *****			
ご利用ありがとうございました。			

豊橋信用金庫

第18回 議長会フォーラム

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日		取扱金庫・店番・機番通番	
05-11-13		1551008-7141	
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号			
[REDACTED]			
お取引金額		お取引後残高	
000000000000		¥6,000*	
お取引種別		お取引後残高	
支払い		*****	
手数料	¥440	ページ	硬貨
時刻	11:02	おつり	
[REDACTED]			
カ) シ"エイティービー"様 [REDACTED] ソソソロシキ"カイ タキカワケンツ"様 [REDACTED]			
***** ***** ***** *****			
ご利用ありがとうございました。			

豊橋信用金庫

第15回 水源の里シンポジウム

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日		取扱金庫・店番・機番通番	
06-01-21		1551008-7120	
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号			
[REDACTED]			
お取引金額		お取引後残高	
000000000000		¥6,900*	
お取引種別		お取引後残高	
支払い		*****	
手数料	¥440	ページ	硬貨
時刻	15:52	おつり	
[REDACTED]			
サ"イ)セ"ンコクシチヨウソクケンシユウサ"イタ "ンセ"様 [REDACTED] ソソシロシキ"カイ タキカワケンツ"様 [REDACTED]			
***** ***** ***** *****			
ご利用ありがとうございました。			

豊橋信用金庫

第3回 JIAM セミナー

令和 6年 1月 9日

新城市議会議長 長 田 共 永 様

新城市議会議員 山 口 洋 一

研修について下記のとおり報告いたします。

記

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム参加報告書

期 日 令和 5年10月25日(水)～26日(木)

研修先及び目的 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1

西日本総合展示場

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム

研修内容等 統一地方選挙の検証と地方議会の課題

第1日目 基調講演

躍動でワクワクする市議会に

片山 善博 (大正大学教授兼地域構想研究所長)

パネルディスカッション

統一地方選挙の検証と地方議会の課題

コーディネーター

谷 隆 徳 (日本経済新聞社編集委員)

パネリスト

勢 一 智 子 (西南学院大学法学部教授)

辻 陽 (近畿大学法学部教授)

濱 田 真 理 (女子議員のハラスメント相談センター代表)

田 仲 常 郎 (北九州市議会議長)

次期開催地挨拶

第2日目 課題討議

議員のなりて不足問題への取り組み報告

コーディネーター

江 藤 俊 明 (大正大学社会共生学部政策学科)

パネリスト

たぞえ 麻 友 (WOMANSHIFT 理事・目黒区会議員)

辻 陽 (近畿大学法学部教授)

永 野 慶一郎 (枕崎市議会議長)

視 察

関門海峡の自然資源を活かした観光誘客への取り組み

日本の本州と九州を隔てる関門海峡。瀬戸内海国定公園に指定、自然景観を活かした観光誘客に取り組んでいる。関門海峡の自然と歴史を学べた。

所 感 議会の議員と首長を、直接選挙で選ぶことで住民の代表機関が2通りになっていることから、二元代表制と言われている。

①住民が、自治体の首長と議会議員を直接選挙で別々に選出

②首長と議員は各々、自由民に対して任務遂行に関する政治責任を負う

③首長と議員は共に住民のために行動すべく一定の緊張感の基協調し合う

以上が2元代表制の政治システムである。

自治法は「普通地方公共団体の長は、当該団体を統括しこれを代表する」から首長は議会に優位しているとする見方があるが、これは首長が対外的に自治体の意思表示(法的代表権)を意味するにとどまり、優位しているのは予算編成権と議案提出権を有している。

取り分け予算編成権に対し、議会はその内容を精査し予算委員会にて編成内容を確実に把握することで税の有効配分と市民サービスの向上が図れる予算の是非を見極めることが重要、特に地方議会は首長の追認機関とならない為にも監視機能を発揮することが重要と考えさせられた。

※ 参加議員 カークランド 竹下 山田 滝川 中西 議長

※ 参加職員 田中事務局長

第18回

全国市議会議長会 研究フォーラム



日本新三大夜景都市全国1位

令和5年 10月25日^[水] ▶ 26日^[木]
13:00～(開場・受付11:30～) 9:00～(開場8:15～)

西日本総合展示場
新館 福岡県北九州市小倉北区
浅野三丁目8-1

大会テーマ
統一地方選挙の検証と
地方議会の課題

■主催: 全国市議会議長会 ■後援: 総務省
■協賛: 全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
■実施: 第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

みらいつなぐ北九州 60th

全国市議会議長会 研究フォーラム



日本新三大夜景都市全国1位

統一地方選挙の検証と地方議会の課題

◆主催者挨拶



全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿 ぼう やすなが

第18回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ北九州市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面しています。昨年12月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図られ、また、本年4月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められていますが、まだまだ十分とは言えず、今後のさらなる取り組みが求められているところです。

そこで今回は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

有識者の方々やご参加いただいた皆様方により活発な議論が交わされ、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆プログラム

■第1日目 10月25日 水 [会場:西日本総合展示場 新館]

11:30	開場・受付
3:00	開会式
12:20	基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
14:20	休憩
14:40	パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷 隆 徳 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢 一 智子 西南学院大学法学部教授 辻 陽 近畿大学法学部教授 濱田 真里 Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表 田仲 常郎 北九州市議会議員
16:40	次期開催地挨拶
16:50	終了
17:15	意見交換会 [リーガロイヤルホテル小倉 4階 [ロイヤルホール]]
18:15	意見交換会終了
18:30	視察Ⅱ

■第2日目 10月26日 木 [会場:西日本総合展示場 新館]

8:15	開場
9:00	課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部公共政策学科 事例報告者 辻 弘之 登別市議会議員 たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT理事 目黒区議会議員 永野 慶一郎 枕崎市議会議員
11:00	閉会式
11:30	視察Ⅲ

※10月24日 火 視察Ⅰ



片山 善博 かたやま よしひろ

大正大学教授兼地域構想研究所長

1951年岡山市生まれ。1974年 東京大学法学部卒業、自治省入省。国税庁能代税務署長、自治省国際交流企画官、自治省固定資産税課長などを経て、1999年 鳥取県知事。2007年 慶應義塾大学教授。2010年 総務大臣。2017年 早稲田大学大学院教授。2022年 大正大学教授兼地域構想研究所所長。併せて、鳥取大学客員教授、デジタル文化財創出機構理事、角川文化振興財団評議員などを務める。[主な著書]「知事の真贋」/2020(文藝春秋)、「片山善博の自治体自立塾」/2015(日本経済新聞出版社)など。

◆ パネルディスカッション



コーディネーター

谷 隆徳 たに たかのり

日本経済新聞社編集委員

1961年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。2005年から地方部編集委員、06年から13年間論説委員を兼務。現在は編集局編集委員。総務省、国土交通省、都庁などを担当し、地方行政全般のほか、地方分権、まちづくり、都市政策などを長年取材。全国知事会地方分権研究会委員、総務省過疎地域優良表彰制度審査委員などを歴任。共著に「列島破産」「さらば東京」「住民サービスここが一番」(ともに日本経済新聞社)など。現在、自治体向け雑誌「日経グローバル」で「地方自治を考える」を連載中。



勢一 智子 せいいち ともこ

西南学院大学法学部教授

山口県下関市出身。1998年3月九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。同年4月に西南学院大学法学部専任講師に着任、助教授を経て、2007年より現職。専門分野は、行政法、環境法、地方自治法、国の審議会等では、第31・32次地方制度調査会委員、地方分権改革有識者会議議員、同提議募集検討専門部会構成員、同計画策定ワーキンググループ座長、国地方係争処理委員会委員、地方公共団体金融機構経営審議委員、中央環境審議会委員などを務める。



パネリスト

辻 陽 つじ あきら

近畿大学法学部教授

1977年大阪府生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学。博士(法学)。近畿大学法学部講師、准教授を経て、2016年4月より現職。専門は政治学、行政学、地方自治論。特に地方議会と首長をめぐる政治制度に強い関心をもつ。著書に「日本の地方議会―都市のジレンマ、消滅危機の町村」(中公新書、2019年)、「戦後日本地方政治史論―二元代表制の立体的分析」(木鐸社、2015年)、共著書に「テキストブック地方自治(第3版)」(東洋経済新報社、2021年)など。



パネリスト

濱田 真里 はまだ まり

Stand by Women代表/女性議員のハラスメント相談センター共同代表
専門は議員に対するハラスメント。2021年に女性による女性議員・候補者の選挙サポートを行う団体 Stand by Women を設立。これまでに100人以上の議員や候補者に対するハラスメントのヒアリングや相談対応を実施。内閣府「令和3年度政治分野におけるハラスメント防止研修教材」等の作成に関する検討会構成員。2022年に子育て中の立候補をサポートする「こそだて選挙ハック!プロジェクト」を始動。2023年に4月の統一地方選挙に向けて日本初の議員向け相談窓口「女性議員のハラスメント相談センター」を設立。



パネリスト

田仲 常郎 たなか つねお

北九州市議会議長

1966年生まれ。北九州市立大学地域創生学群地域創生学類卒業。平成21年2月から北九州市議会議員を務め、連続4回当選。現在4期目。その間、総務財政委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任。令和5年10月から、第24代北九州市議会議長に就任。
議員活動の傍ら、NPO法人則松金山川コスモス会理事長(平成31年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞)、八幡西地区柔道連盟理事、北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長、北九州市なごな連盟会長、保護司など、ボランティア活動や青少年育成を行っている。

◆ 課題討議



コーディネーター

江藤 俊昭 えとう としあき

大正大学社会共生学部 公共政策学科教授

中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士(政治学)。第29次・第30次地方制度調査会委員、「町村議会のあり方に関する研究会」委員(総務省)、全国町村議会議長会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長、全国市議会議長会90年史編集委員会委員、等々を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「町村議会議員のなり手不足対策検討会」委員、議会サポーター・アドバイザー(滝沢市、四日市ほか多数)。月刊「ガバナンス」などで連載中。



事例報告者

辻 弘之 つじ ひろし

登別市議会議長

1981年生。大阪府豊中市出身。北海道大学公共政策大学院修了。社会福祉士・精神保健福祉士・社会教育士・防災士。阪神淡路大震災での被災経験から社会福祉の道を志し、北海道登別市内にて医療ソーシャルワーカーとして就職。公的扶助の運用課題の解決を目指し、26歳で初当選。現在5期目。各委員長、監査委員等を歴任し、議長として早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング全国1位に導く。2023年統一地方選挙後、議長に再任。



事例報告者

たぞえ 麻友 たぞえ まゆ

一般社団法人WOMAN SHIFT理事/目黒区議会議員

1982年東京都目黒区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中にヨハネスブルグサミットに参加。経営コンサルティング会社に在職中に3人の子どもを出産。保育園問題やマミートラックに悩む。
2015年、実母の末期がん発覚を契機に、退職と出馬を決意。目黒区議会議員選挙に出馬、当選。WOMAN SHIFTの立ち上げから参画し、現在は理事。2023年、三度目の当選。現在は子育て支援、教育、DX、環境などの政策を展開。児童虐待問題については共著「子どもの虐待はなくせ!」を出版。



事例報告者

永野 慶一郎 ながの けいいちろう

枕崎市議会議長

1971年12月生まれ。鹿児島市立鹿児島商業高校を卒業。2013年度枕崎商工会議所青年部会長、鹿児島県商工会議所青年部連合会副会長。イベントの企画・運営やまちづくり事業に携わり、2015年4月市議会議員選挙において初当選、以来連続3回当選。現在3期目。2019年5月から総務文教委員長、2021年5月第46代枕崎市議会議長に就任。改選を経て2023年5月第47代枕崎市議会議長に再任。「無投票・定数割れからいかに回復するか 無投票選挙の克服をめざした4年の歩み」地方議会人2022年12月号。



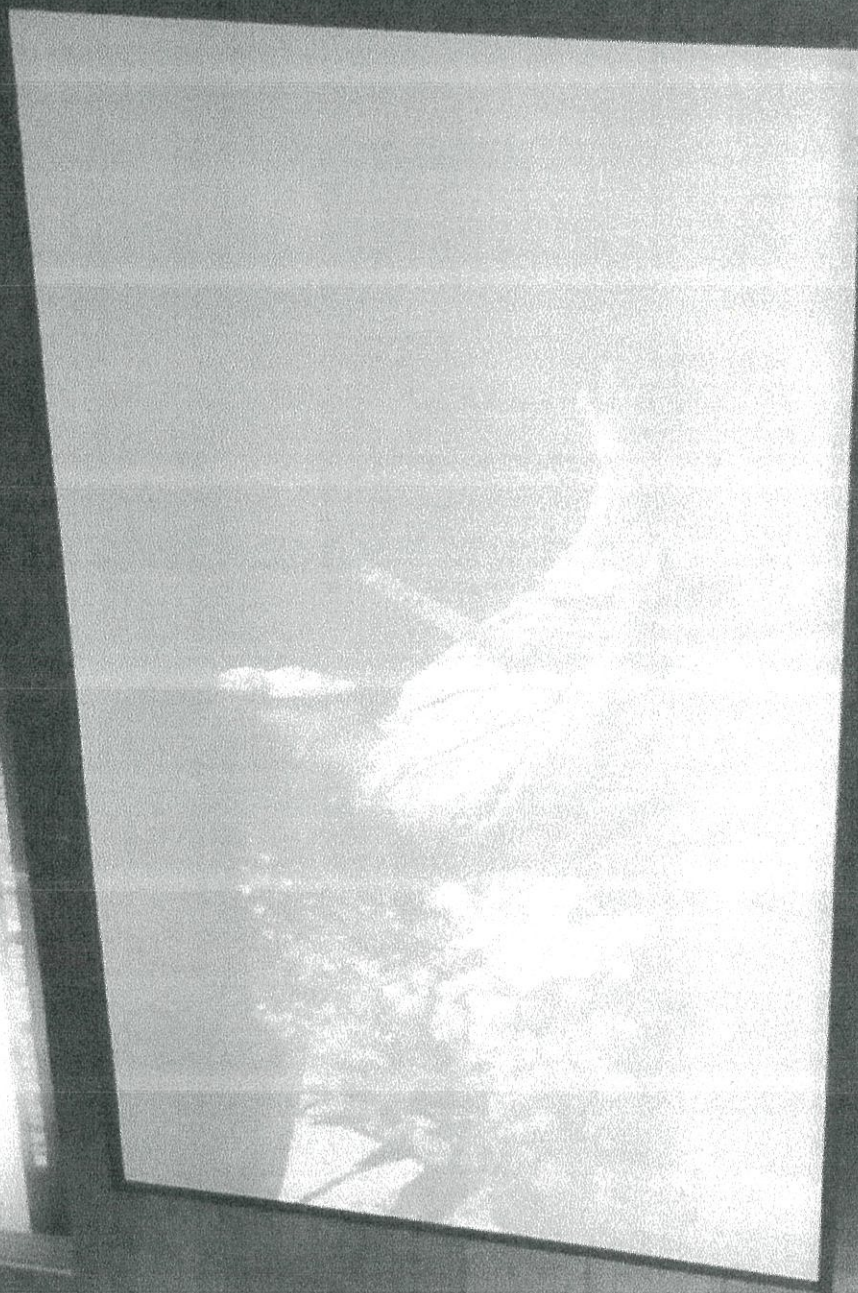


第12回 日本学協会 総会

日本学協会研究フォーラム

第12回 日本学協会 総会 会場：東京国際会議場（東京都千代田区有明）

第12回



令和 6年 1月 9日

新城市議会議長 長 田 共 永 様

新城市議会議員 山 口 洋 一

研修について下記のとおり報告いたします。

記

第15回 全国水源の里シンポジウム参加報告書

期 日 令和 5年11月21日(火)～22日(水)

研修先及び目的 島根県松江市

島根県民会館 大ホール

第15回 全国水源の里シンポジウム

研修内容等 ～斐伊川流域の持続可能なのちづくりを目指して～

第1日目

基調講演

これまでの100年とこれからの100年

～斐伊川改修の100年のあゆみ～

小 谷 哲 也 (国土交通省 出雲河川事務所長)

地域でつながる関係人口

田 中 輝 美 (鳥取県立大学 准教授)

パネルディスカッション

コーディネーター 松 本 一 郎 (島根大学 教授)

パネリスト 大 石 亘 太 (ダムに見える牧場代表)

前 田 みのり (このはなプラン田代表)

河 野 美 和 (株 ちいきおこし代表取締役)

仙 田 拓 也 (やすぎどじょう生産組合

事務局長

大会アピール

次期開催地挨拶 佐賀県嬉野市

視 察

前田 みのり (このはなプラン田代表) が添乗

国宝出雲大社と出雲平野の成り立ちを学ぶ

宍道湖の特徴、斐伊川とヤマタノオロチの関係(神話)から、

出雲平野の成り立ちを詳しく学べた。古代の神々が気づいた、
国《出雲》つくり精神は現在の首長のまちづくりに活かすこと
が必要である。 温故知新

所 感 斐伊川が出雲の時代から人々の暮らしに多くの恵みを与え、時
には洪水（八岐大蛇の鋭い爪）による被害もあった。大正12年
の河川改修から100周年となるが、近年の気候変動により想定
外の洪水発生は否定できないが、流域の一人一人が治水事業に組
んでゆく姿が見られた。 基調講演

上流・中流・下流から活躍しているまちづくり担い手の足跡が
地域の発展、次世代への橋渡しができると感銘した。本市も上流
として下流に対し大きな責任がある事を忘れず邁進することが必
要性を再認識した。 ディスカッション

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を確実に次世代に
繋ぐため、地域全体が一体となる事を痛感した。

大会アピール

※参加議員 滝川

上流は下流を思い、
下流は上流に感謝する

第15回

全国水源の里 シンポジウム

in 島根県松江市

オロチ退治でローカル・サステナビリティ
～斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～

日程 令和5年11月21日(火)・22日(水)

会場 島根県民会館 大ホールほか

主催 第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会
(松江市、国土交通省出雲県土事務所、島根県、松江町、松江市、一般社団法人松江観光協会)

上流 尾原ダム

11月21日(火) 13:00～17:15 (島根県民会館)

■シンポジウム

■基調講演

「これまでの100年とこれからの100年～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～」

講師：国土交通省 出雲河川事務所長 小谷 智也氏

「流域でつながる関係人口(仮)」

講師：島根県立大学准教授 田中 輝美氏

■パネルディスカッション

コーディネーター：島根大学教授 杉本 一郎氏(松江SDGsアドバイザー)

パネリスト：～斐伊川流域で活躍するまちづくりの担い手～

大石 巨太郎氏 前田あかり氏 河野 美知氏 仙田 拓也氏

入場無料

有料・要事前申込

全国水源の里連絡協議会会員向け

■交流会 11月21日(火) 18:30～20:30 (松江テルサ)

■現地視察研修 11月22日(水) 8:30～14:00 (JR松江駅南口集合・解散)

【浜田市】日本遺産「たたら」庭遊と尾原ダム学びのコース

【出雲市】国生出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶオカイロコース

【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、蔵入商店街散策コース

【松江市】美肌姫の湯・玉造温泉の癒やし車生ストーリーコース

【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどらや養蜂学びのコース

下流 穴通瀬の夕景

第15回 全国水源の里シンポジウム in 島根県松江市

一決りきり伊川流域は、上流域において古くから「たたら製鉄」が行われ、上流からもたらされる富により流域全体で生活・文化圏が形成されてきました。一方で、山を切り開き、上流を水路に流しながら鉄を採取する「鉄穴掘り」が行われてきた結果、全国でも稀な大井川の作り上げられ、段々の湧水に見舞われたことから、足伊川は「やまタノオロチ」に比喩されて恐れられてきました。

近代化の進展とともにたたら製鉄は終了し、流域間の繋がりが弱体化した現代において、都市部への人口流出と少子・高齢化によりこの域を中心に過疎化が進行し、流域の活力が失われております。そのようななか、昭和47年洪水を契機として、上流・中流・下流がお互いに治水機能を分担する「足伊川治水システム」と題した治水事業が計画され、これまでに上流のダム、中流の治水路が完成し、残る下流の大谷川改修が現在進められているところでです。

この治水事業は、多くの家屋移転やまちの姿かたちを失える極めて大規模なプロジェクトであり、流域全体の深い理解と協力が欠かせないことから、様々な方法で事業の調整や地域間の交流が図られています。また、治水のみに終始するのではなく、ダム周辺エリアのまちづくりや、大谷川流域と共生するまちづくり、かたとまちが融合した魅力ある「かわまちづくり」など、「グリーンインフラ」の取組みによる持続可能な地域社会の形成が、流域全体で進められています。

この度、足伊川流域における治水事業の関係者やまちづくりの担い手が一堂に会し、流域全体の持続可能なまちづくりを目指して意見を交わすことで、流域間の絆を更に深めるとともに、流域を携える条件を広く社会へアピールする場として、シンポジウムを開催するものです。

11月21日(火) シンポジウム

基調講演



これまでの100年とこれからの100年
～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～

講師

国土交通省 出雲河川事務所長

小谷 哲也氏



流域でつながる関係人口(仮)

講師

島根県立大学 准教授

田中 輝美氏

パネルディスカッション

コーディネーター



島根大学 教授

松本 一郎氏

(松江市SDGsアドバイザー)

パネリスト



ダムの見える牧場 代表

大石 亘太氏

パネリスト



株式会社ちいきおこし
代表取締役

河野 美知氏

パネリスト



このはなプラン 代表

前田みのり氏

パネリスト



やすぎとじょう生産組合
事務局長

仙田 拓也氏

交流会(※有料・要事前申込)

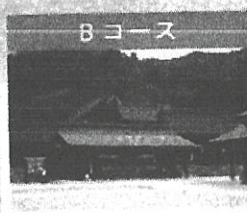
11月22日(水) 現地視察研修(※有料・要事前申込)

斐伊川流域の歴史文化遺産や特徴的なまちづくりの現場を巡る



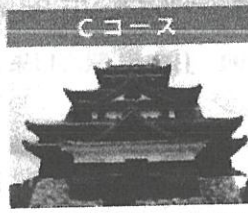
Aコース

日本遺産「たたら」開港と
尾島ダム学びのコース
(雲南市)



Bコース

国宝出雲大社拝観と出雲平
野の成り立ちを学ぶシオカ
イトコース(出雲市)



Cコース

国宝松江城観覧と城下町遊
覧、職人商店街視察コース
(松江市)



Dコース

美肌姫神の湯・玉造温泉の
隣り再生ストーリーコー
ス(松江市)



Eコース

「日本一の庭園」足立美術館
鑑賞とどじょう養殖学の
コース(安来市)

第15回 全国水源の里シンポジウム in 島根県松江市

シンポジウム・交流会・宿泊・現地視察研修お申込みのご案内

オロチ退治でローカル・サステナビリティ
～ 斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～

一級水系斐伊川流域は、上流域において古くから「たたら製鉄」が行われ、上流からもたらされる富により流域全体で生活・文化圏が形成され発展してきました。一方で、山を切り崩し、土砂を水路に流しながら砂鉄を採取する「鉄穴流し」が行われてきた結果、全国でも稀な天井川が作り上げられ、度々の洪水に見舞われたことから、斐伊川は「ヤマタノオロチ」に見立てられ恐れられてきました。

近代化の進展とともにたたら製鉄は終焉し、流域間の繋がりが希薄化した現代において、都市部への人口流出と少子・高齢化により上流域を中心に過疎化が進行し、流域の活力が失われつつあります。そのようななか、昭和47年洪水を契機として、上流・中流・下流がお互いに治水機能を分担する「斐伊川3点セット」と呼ばれる治水事業が計画され、これまでに上流のダム、中流の放水路が完成し、残る下流の大橋川改修が現在も進められているところです。

この治水事業は、多くの家屋移転やまちの姿かたちを変える極めて大規模なプロジェクトであり、流域全体の深い理解と協力が欠かせないことから、様々な方法で事業の周知や流域間の交流が図られています。また、治水のみに終始するのではなく、ダム周辺エリアのまちづくりや、大型水鳥類と共生するまちづくり、かわとまちが融合した魅力ある「かわまちづくり」など、「グリーンインフラ」の取組みによる持続可能な地域社会の形成が、流域全体で進められています。

この度、斐伊川流域における治水事業の関係者やまちづくりの担い手が一堂に会し、流域全体の持続可能なまちづくりを目指して意見を交わすことで、流域間の絆を更に深めるとともに、流域連携の必要性を広く全国へアピールする場として、シンポジウムを開催するものです。

■主 催 第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会

(松江市、国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江商工会議所、一般社団法人松江観光協会)

協 賛 全国水源の里連絡協議会、斐伊川・神戸川治水問題松江地区協議会

■開催日 令和5年11月21日(火)、22日(水)

■会 場 島根県民会館(島根県松江市殿町158)ほか

■スケジュール

《11月21日(火)》 シンポジウム

日 程	内 容	備 考
12:00	開場／受付開始	◆会場 島根県民会館 大ホール 島根県松江市殿町158 ◆参加無料 ◆アクセス JR松江駅より(のりば) ・松江市営バス／「大学・川津行」(2番)、「松江しんじ湖温泉行」(3番)、「北循環線(外回り)」(1番)で10分「県民会館前」下車 ・一畑バス／「美保関ターミナル行」(2番)、「松江しんじ湖温泉行」(3番)、「恵曇・片勾・古浦・高専行」(6番)で10分「県民会館前」下車 ・運賃：170円(北循環線は210円) ◆駐車場 ・県民会館有料駐車場(平面)／収容台数130台、料金30分：100円 ・タイムズ一畑殿町駐車場(立体)／収容台数242台、料金60分：220円(24時間：700円) ・いずれも会館利用者は3時間無料(要手続)
13:00～13:15	オープニング「正調関乃五本松節」	
13:15～13:35	開会式	
13:40～14:05	フォトコンテスト表彰式	
14:10～14:40	基調講演1「これまでの100年とこれからの100年 ～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～」 講師 小谷 哲也氏(国土交通省出雲河川事務所長)	
14:50～15:40	基調講演2「流域でつながる関係人口(仮)」 講師 田中 輝美氏(島根県立大学准教授)	
15:45～17:00	パネルディスカッション テーマ「オロチ退治でローカル・サステナビリティ ～斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～」 コーディネーター 松本 一郎氏(島根大学教授) パネリスト 大石 亘太氏(ダムの見える牧場代表) 前田みのり氏(このはなプラン代表) 河野 美知氏(株式会社ちいきおこし代表取締役) 仙田 拓也氏(やすぎどじょう生産組合事務局長)	
17:05～17:15	大会アピール／次回開催地あいさつ	
17:15	閉会	

《11月21日（火）》 交流会 シンポジウム会場からJR松江駅南口まで無料シャトルバスあり（片道）

日 程	内 容	備 考
18:30~20:30	交流会（開場18:00~） 斐伊川流域の伝統芸能披露「出雲神楽」「安来節」	◆会場 松江テルサ テルサホール 島根県松江市朝日町478-18 （JR松江駅北口） ◆参加料 5,000円

《11月22日（水）》 現地視察研修 参加料に昼食・交通費含む

日 程	コ ー ス	備 考
8:30~14:00	A【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース	【8:30集合】 JR松江駅南口へ各自参集願 います。 ◆参加料 3,000円
	B【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース	
	C【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース	
	D【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース	
	E【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース	

■会場までの移動手段

○シンポジウム会場までの交通手段について

公共交通機関でお越しの方は、JR松江駅からバス又はタクシーをご利用ください。

お車で越しの際は、会場提携駐車場（3時間無料）又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

○シンポジウム終了後の交流会会場までの交通手段について

シンポジウム会場からJR松江駅南口（交流会会場最寄り）までの片道は、無料シャトルバスをご用意します。

お車で越しの際は、JR松江駅近隣の有料駐車場をご利用ください。

○現地視察研修会場までの移動について

現地視察研修は各コースともJR松江駅南口から中型バスで移動します。当日は8時30分までにJR松江駅南口へご参集ください。

■宿泊先

下記の「お申込み先」に記載の専用Webサイトにて宿泊先を斡旋しています。（令和5年10月15日（日）まで）

お申込み・お支払いの方法

お申込みは全て専用Webサイトにアクセスして手続きを行ってください。

①シンポジウム、交流会、宿泊、現地視察研修のそれぞれについてお申込みください。

②シンポジウムについて

・シンポジウムは入場無料で、どなたでもご参加いただけます。シンポジウムのみ参加される方は専用サイトからの申込みは不要です。

・ただし、全国水源の里連絡協議会会員（首長）及び来賓の皆様は、指定席をご用意しますので、専用サイトから申込み手続きを行なっていただきますようお願いいたします。

③宿泊について

・専用サイトが斡旋する宿泊先を利用する場合、専用サイトのガイドンスに従って宿泊先を決定し、支払い手続きを行なってください。

・なお、ハイシーズンにつき部屋数に限りがあります。先着順ですので、お早めにお申込みください。

④交流会、現地視察研修について

・参加申込みが会場等の収容定員を超える場合、参加者の決定は全国水源の里連絡協議会会員及び来賓等の関係者を優先のうえ、先着順にて決定しますので、お早めにお申込みください。

・現地視察研修の5コースについては、第1希望から第5希望まで選択してください。各コース同数程度になるよう調整させていただきますので、予めご了承ください。

・10月下旬に参加決定通知書・請求書等を代表者様に一括してお送りしますので、書類内容をご確認のうえ、11月13日（月）までに交流会及び現地視察研修の参加料を請求書記載の指定口座にお振込みください。振込み手数料は各自ご負担ください。

・シンポジウムの受付時に交流会及び現地視察研修の参加料の領収書をお渡します。

お申込み先

（URL）<https://amarys-jtb.jp/suigennnosato/>

申込先QRコード>>>



お申込みの締切日

令和5年10月22日（日）※宿泊は10月15日（日）

変更・キャンセルについて

お申込み後の変更・キャンセルも専用Webサイトにて手続きを行ってください。なお、キャンセル料は次のとおりです。キャンセルにより返金の必要が生じた場合は、シンポジウム終了後、ご指定の口座へ振込にて返金します。ただし、返金に伴う振込手数料はお申込者の負担となりますこと、予めご了承ください。（宿泊を除く）

【交流会・現地視察研修】当日及び無連絡不参加：全額

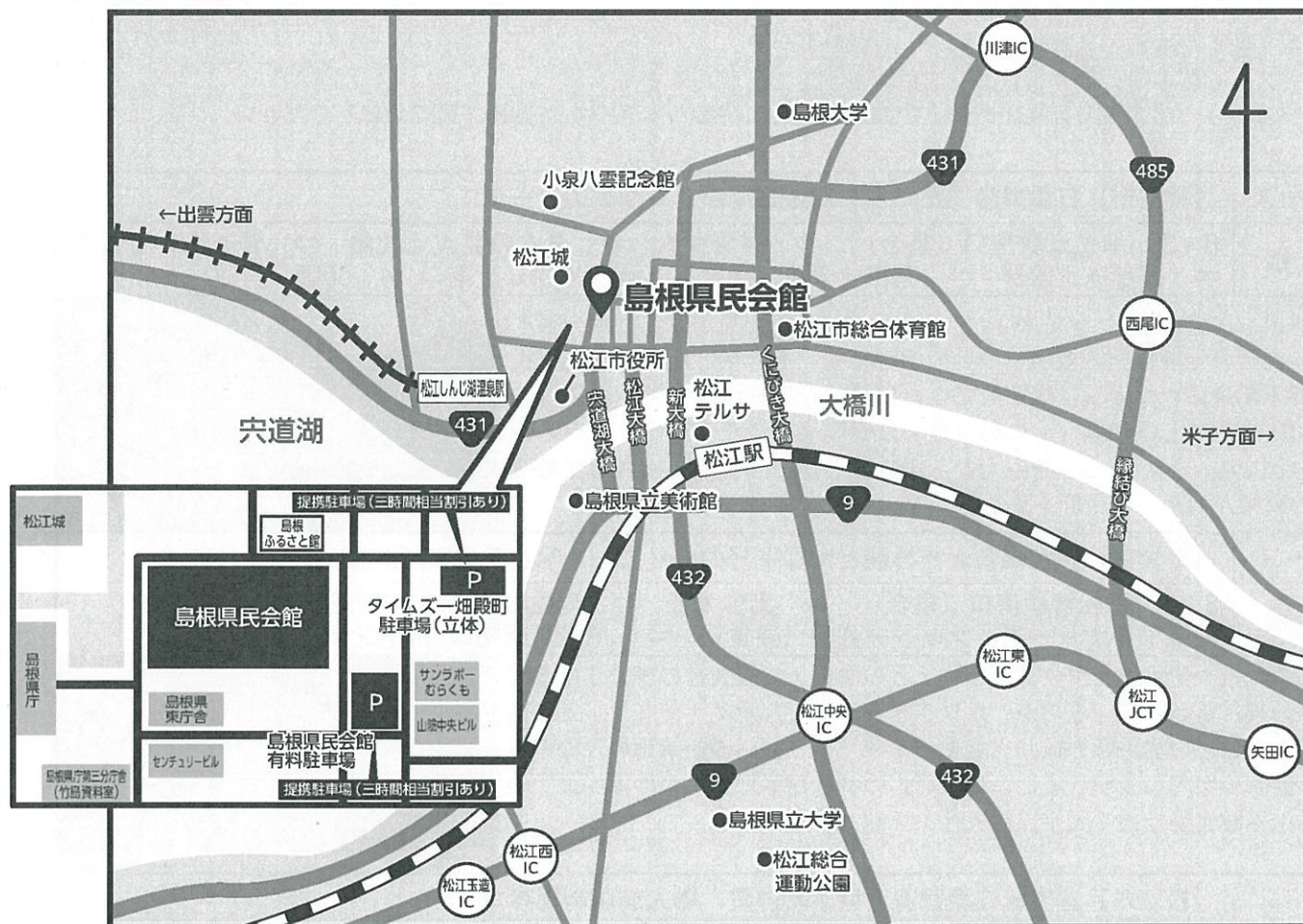
【宿泊】4日前以前：無料、3～1日前：宿泊料の20%、当日：宿泊料の50%、連絡なしの宿泊：全額

現地視察研修

- ①各コースとも市職員が添乗する中型バスで移動します。
- ②各コースとも諸事情により行程の一部を変更することがあります。
- ③各コースとも一部徒歩の行程がありますので、雨具の持参と歩きやすい服装、靴でお越しください。

Aコース	【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース
行 程	8:30 JR松江駅南口（集合）⇒ 尾原ダム ⇒ ダムの見える牧場 ⇒ 菅谷たたら山内 ⇒ 田部家土蔵群 ⇒ 割烹すぎ原（昼食）⇒ JR松江駅南口 14:00頃（解散）
「斐伊川治水計画3点セット」の一つである尾原ダムを見学し、治水・利水とダム周辺の地域振興の取組について学びます。その後、たたら製鉄（我が国で千年余にわたり受け継がれてきた伝統的な製鉄法）で栄えた雲南市吉田町内を周遊し、映画「もののけ姫」に登場するたたら場のモデルといわれ全国で唯一現存する「菅谷たたら山内」と、松江藩筆頭鉄師田部家の往時の繁栄が伺える土蔵群を見学します。	
	
Bコース	【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース
行 程	8:30 JR松江駅南口（集合）⇒ 出雲大社 ⇒ 稲佐の浜 ⇒ 神門通り ⇒ 島根ワイナリー内、シャトー弥山（昼食）⇒ JR松江駅南口 14:00頃（解散）
宍道湖の特徴や斐伊川とヤマタノオロチとの関係、出雲大社の神さまはなぜ縁結びの神と言われているのか、オロチを退治したスサノオノミコトとの関りは何かなど、出雲平野の成り立ちをジオサイトと神話の伝承地の二つの視点から詳しく案内します。また、日本最古の神社建築様式、かつ国内最大規模の木造本殿建築である国宝出雲大社を拝観します。	
	
Cコース	【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース
行 程	8:30 JR松江駅南口（集合）⇒ 堀川遊覧船 ⇒ 松江城 ⇒ 松江歴史館 ⇒ 出雲そば処 八雲庵（昼食）⇒ 職人商店街 ⇒ JR松江駅南口 14:00頃（解散）
松江のまちは、今から400年余前に松江城の築城と同時に造られた城下町です。このコースでは、松江が全国に誇る現存天守・国宝松江城の魅力を余すことなくガイドするとともに、近世の姿を伝えるまちなみを堀川遊覧船で巡ります。そして、中心市街地の活性化を目的に城下町に息づく職人の技の「見える化」に取り組む「職人商店街」を視察し、松江の歴史文化遺産を生かしたまちづくりを学びます。	
	
Dコース	【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース
行 程	8:30 JR松江駅南口（集合）⇒ 玉作湯神社 ⇒ 玉造温泉街 ⇒ 出雲玉作資料館 ⇒ 湯町窯 ⇒ 玉造国際ホテル（昼食）⇒ JR松江駅南口 14:00頃（解散）
奈良時代の出雲国風土記や平安時代の枕草子に登場し、日本最古の湯として知られる玉造温泉。相次ぎ老舗旅館が廃業するなど一時は危機的な状況にありましたが、「美肌温泉」としてかつての賑わいを取り戻しました。美肌温泉を街のテーマとした理由や街歩きを促すための仕掛けなど、この地方の特徴でもある勾玉をはじめ玉造の歴史や文化も紐解きながら、歴史ある温泉街の再生の手法を学びます。	
	
Eコース	【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース
行 程	8:30 JR松江駅南口（集合）⇒ やすぎどじょうセンター ⇒ 足立美術館 ⇒ 道の駅あらエッサ内、中海の郷（昼食）⇒ JR松江駅南口 14:00頃（解散）
どじょうすくい踊りが象徴的な民謡安来節。安来市は、全国屈指のどじょうの養殖地でもあります。このコースでは、休耕田を活用したどじょう養殖の取組みを学び、名物どじょう料理をいただきます。また、アメリカの日本庭園専門誌において20年連続日本一に輝いた足立美術館において、横山天観、北大路魯山人のコレクションと庭園を鑑賞します。	
	

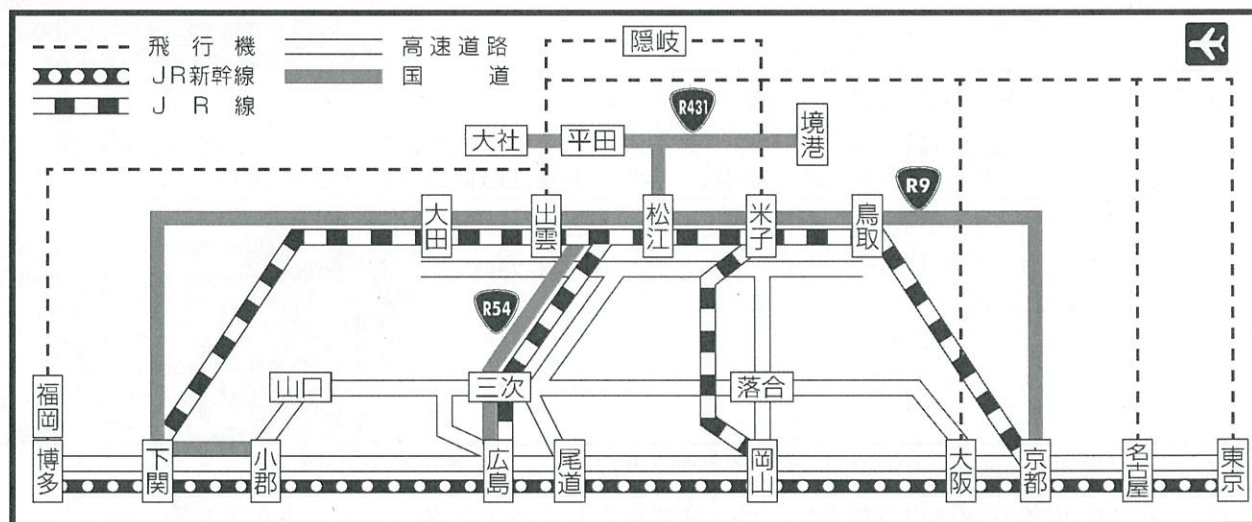
■会場ご案内



■JR松江駅より

- ・松江市営バス／「大学・川津行」(2番のりば)、「松江しんじ湖温泉行」(3番のりば)、「北循環線(外回り)」(1番のりば)で10分「県民会館前」下車
- ・一畑バス／「美保関ターミナル行」(2番のりば)、「松江しんじ湖温泉行」(3番のりば)、「恵曇・片句・古浦・高専行」(6番のりば)で10分「県民会館前」下車

■交通ルート



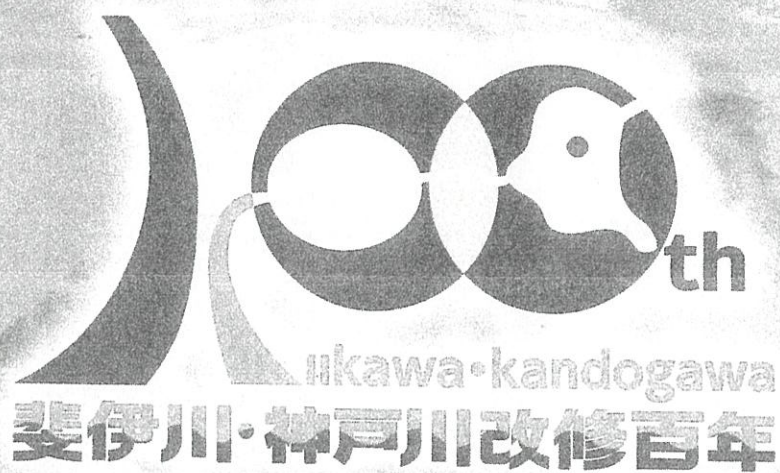
■お問合せ先

第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会事務局
〒690-8540 島根県松江市末次町86
松江都市整備部大橋川治水・国県事業推進課
担当：古瀬・角田
TEL：0852-55-5379 FAX：0852-55-5915
MAIL：ohashi@city.matsue.lg.jp

■専用Webサイトに関すること

JTB山陰支店
第15回全国水源の里シンポジウム係
担当：小笠原果穂
MAIL：suigen15@bsec.jp※メールのみにて受付

斐伊川・神戸川改修 100年のあゆみ



大会アピール

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を理念とした「水源の里」の活動は、治水・利水の面から運命共同体とも言える同じ流域に住まう住民全員にとって、とても大切な活動です。

本日、「第15回全国水源の里シンポジウム」に参加した私たちは、流域の生命と財産を守るため、上流部・中流部・下流部が連携して治水に取り組む斐伊川・神戸川治水事業の精神に、流域連携の必要性を再認識するとともに、この流域において強い愛着と溢れる意欲を持ってまちづくりに取り組む人財の存在に、「水源の里」の可能性を見出すことができました。

私たちは、それぞれの流域における基盤とも言える「水源の里」を、決して欠くことができない流域の構成要素として捉え、確実に次世代へと繋いでいくため、一体となって次のことに取り組むことをここに宣言します。

- 一 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく流域連携の必要性を全国にアピールするとともに、流域間の交流・連携を通じて「水源の里」の持続的展開を目指します。
- 一 豊かな自然資源や歴史文化、温もりある人間関係に彩られた「水源の里」の魅力を積極的に発信し、多様な形で関わろうとする人々を支援し増やしていくことで「水源の里」の活性化を図ります。
- 一 親の世代が守り継承してきた「水源の里」を絶さないよう、流域全体が手を取り合い、あらゆる手法を用いて課題の克服を図り、未来の子どもたちに自信と誇りを持って「水源の里」を引き継いでいきます。

以上を確認し、大会アピールとします。

令和5年11月21日

「第15回全国水源の里シンポジウム」参加者一同

第15回 全国水源の里シンポジウム

オリーブ自治体ローカル・リソース・マネジメント・フォーラム 瀬田川流域の自然資源の持続可能な利用に関するシンポジウム

会場：瀬田川流域

流域でつながる関係人口

鳥取県立大学 准教授 田中 舞美氏

